

- ① 開催年月日 令和4年11月30日 14:00～16:00  
② 開催場所 宇治商工会議所(京都府宇治市宇治琵琶45番地の13)議員講話室  
③ 委員の出席 委員総数 7名  
出席委員数 6名  
放送事業者側出席者名 局次長

④ 議題

- (1) 11月30日(土) 公開放送 「全国お茶まつり京都大会 宇治 in 茶づな」

(2) 報告事項

期間限定番組「高校生文化芸術祭典FUN×FAN×FES」について  
年末年始の番組編成について

- ⑤ 議事の概要 公開生放送の公開感をあまり感じなかった。現場の音や声をもう少し取り入れてほしかった。イベントの内容説明の部分が多く感じたので、お茶についてももう少し知識を取り入れるべきだった。地域の特産品である宇治茶について、地域の放送局として継続的に番組を作成に励んでほしい。などの意見が多数出された。

⑥ 審議内容

局次長 本日審議して頂くのは、11月19日(土)のお昼2時間枠で行った「全国お茶まつり京都大会 宇治 in 茶づな」公開放送の様子です。「全国お茶まつり」は、茶生産技術の向上とお茶の消費拡大を図るため、全国の茶生産府県が持ち回りで毎年開催され、2022年度は京都府宇治市をメイン会場として9年ぶりの京都府での開催となりました。FMうじでは、イベント会場の1つでもある「お茶と宇治のまち歴史公園 [茶づな]」会場から、5人のパーソナリティとともに宇治茶の魅力が体験できるブースの紹介や、イベントの情報をお伝えする目的として公開生放送を行いました。

～同録～

委員 今回聞いたのは番組の断片的な一部の放送でしたが、公開生放送にしては公開感がなかったですね。実際の会場の様子を生放送でお伝えするので、周りの声や音が入ってもよかったですね。人が行き交いする音や、お店の方々の売り子の声など、現場の音があると臨場感がでて番組にも深みが出てくるのではないのでしょうか。

委員 今回の5人のパーソナリティが話されていましたが、みなさんのそれぞれの声に特徴、魅力があり特別番組の感じがしました。単調な声が続くと聞いていてしんどいと感じるかもしれません。

委員長 イベント参加者のインタビューはされたのですか。

局次長 今回は実際に一般の方のインタビューは放送しませんでした。インタビューはしたのですが、パーソナリティがそれぞれ聞いてきたものを代わりに紹介する形として放送しました。

委員 参加者のコメントは取り入れるべきでしたね。リスナー側からしたら実際の声をきくことによってよりイベントに魅力を感じられるのでは。

委員 鳥獣人物戯画の茶香服のレポート部分がありましたが、もう少し説明が欲しかったですね。

委員 鳥獣人物戯画は学校でも習ったりして知っている方はいると思いますが、高山寺はどういった関係があるのかなど、その背景を詳しくお伝えすべきでしたね。

委員 茶香服の5種類のお茶のそれぞれの色や味の特徴を教えてほしかったです。例えば芽茶とは。あまり聞きなじみのないお茶でどういった製法で作られているかなど聞きたかったです。もう少しお茶について勉強し、知識を身につけてから紹介して頂きたかったです。

委員長 全体的に思ったのが、イベントの内容紹介などの表面的な紹介が多いと感じました。もう少し宇治茶の本質的な魅力や成り立ちなど、聞かせる情報を入れればいいですね。せっかくの生放送ですから、いかにリスナーの方々が行きたいと思えるかを意識して番組構成していくべきですね。

特別番組に限らず宇治茶について、地域の放送局として継続的に番組を作成に励んでほしい。